

28年11月4日

あきる野市議会議員 殿

会 派 名 公 明 党

代表者氏名 増崎 俊宏



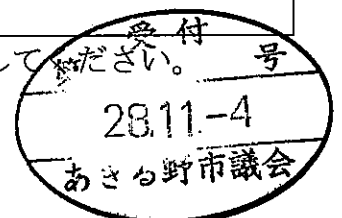
会派の（調査研究・研修）報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成 28年 10月 6日（木）～ 平成 28年 10月 7日（金） 1泊 2日
2 調査研究または 研修の場所	岡山市 岡山国際ホテル
3 調査研究事項 または研修名	第78回全国都市問題会議 人が集いめぐるまちづくり ～国内外にひらかれた都市の活力創出戦略～ 第一日（10月6日）基調講演、主報告、一般報告 第二日（10月7日）パネルディスカッション、行政視察
4 参加者氏名 （ 3名）	増崎 俊宏 松原 敏雄 田中 千代子
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

※ 自家用車を使用した場合は、必ず自家用車使用報告書を添付してください。



□ 視察報告 □ 研究研修報告

会議は、全国から市長並びに議員など行政に携わる者およそ2000名が参加して、「人が集いめぐるまちづくり」を議題として開催された。

会議では、ドイツ文学者 池内 紀 氏の「まちの見方、見つけ方」と題した基調講演を始め、如何に都市の活力創出をしていくかという視点から、以下のとおり、それぞれの経験や研究成果に基づく講演と報告、パネルディスカッションが行われた。

第一日

基調講演	まちの見方、見つけ方 ドイツ文学者、エッセイスト 池内 紀
主報告	人口減少社会における都市の活力創出 岡山県岡山市長 大森 雅夫
一般報告	人を惹き付ける都市空間とその文化力 法政大学デザイン工学部教授 陣内 秀信 交流とにぎわいのまちづくり 奈良県橿原市長 森下 豊 革新的サイバニクシステムによる社会変革・未来開拓 への取り組み 筑波大学大学院システム情報工学教授 他 山海 嘉之

第二日

パネルディスカッション

テーマ	人が集いめぐるまちづくり ～国内外にひらかれた都市の活力創出戦略～
-----	--------------------------------------

コーディネーター

東京大学大学院工学系研究科教授 西村 幸夫

パネリスト

	中央大学法学部教授 工藤 裕子
一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事	木下 斉
株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役	木村 正明
	茨城県ひたちなか市長 本間 源基
	三重県鈴鹿市長 末松 則子

感想等

基調講演、池内氏の講演のなかで、ドイツと日本の敗戦からの復興という類似性有るものの、そのまちづくりの違い、ドイツでは、アウシュビッツ裁判など過去を知ること、「過去に眼をつむるものは、現在も見えない」とされ、倫理に基づき判断で、まちの建物、その外観など都市が歴史の記憶装置となっている。かたや日本では、スクラップ&ビルドで高度成長を遂げてきて街は変化してきた。との対比的な話しのなかで歴史の裏づけを有すものは強いとの主張に共感する。

岡山の大森市長の市の取り組みの紹介で、自転車を岡山にふさわしい交通手段の一つと位置づけ、H25年からコミュニティサイクル「ももちやり」(桃太郎のもも)を市内35か所拠点で共同利用システムの導入の報告では、本市でも、放置自転車のリサイクル活用と観光施策の一つとして観光ルートのサイクリングを組み合わせた「リサイクリング(造語)の促進」事業の取り組みなど“あり”かもしれない、などと考える。

山海先生の、サイバニックシステムによる「重介護ゼロ社会」に向けてロボットスーツHALの開発報告は、メディアでも取り上げられたこともあり興味深く聞く。

まちづくりにおける”人”とその”活動(しごと)”の二つの視点から、それぞれの報告や主張、課題提起は、これからのあきる野市のまちづくりに大変参考になり、今後の活動に活かしていきたい。